

学校教育だより

令和3年 11月26日

第24号

発行 厚沢部町教育委員会

こころ豊かに学び、厚沢部町の未来を拓く人を育みます

11月2日、厚沢部小学校公開研究会開催

北海道教育委員会指定のプログラミング教育事業が3年目となる厚沢部小学校において、このたび公開研究会が開催されました。

管内の教職員が多数参加して行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染防止のために参加者を縮小し、町内の教職員及び経験2年の初任教職員約40名の参加者による開催となりました。

檜山教育局長をはじめとする大勢の方々にお越しいただき、とても熱のこもった研究会となりました。

外国語活動(3年)と社会科(6年)の公開授業後、プログラミング教育や1人1台端末による授業づくりについて協議し、ICTを活用した効果的な授業の在り方について研修を深めました。

協議後、北海道教育大学旭川校准教授の山中謙司氏が、「育成を目指す資質・能力と個別最適な学び・協働的な学び」と題し講演されました。

端末機器の活用は、子どもたちが未知の状況にも対応できる真に必要な力を身に付けさせる目的と視点を持つことの重要性など、大変貴重なお話を聞くことができました。

今後の更なる実践の向上につながる大変充実した研究会となりました。



3年 外国語活動

色や形など、欲しいものを尋ねたり答えたりすることに慣れ親しむ学習。



6年 社会科

デジタルとアナログのよさを活かし、開国後の世の中の変化を意欲的に学ぶ児童。

プログラミング教育

＜小学校：令和2年度から必修＞

コンピュータは人が命令を与えることで動作します。命令が「プログラム」であり、命令を与えることが「プログラミング」です。

「プログラミングを体験しながら、コンピュータに意図した処理を行わせるために必要な論理的思考力を身に付けさせるための学習活動」を計画的に実施します。

